2025 年
9 月 25 日
NO.61

全国 OB 会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国 OB 会
発行人　伊藤　憲治

２０２５全国高齢者集会開催される

２０２５全国高齢者集会は９月１８日、文京シビックホールにおいて開催されました。オープニングでは、創作和太鼓が披露され、会場にはバチの音がひびきわたりました。

主催者を代表して、退職者連合の野沢会長は、春闘では２年連続で５％以上の賃上げを実現しましたが、物価高で実質賃金のマイナス基調が続き、高齢者には、厳しさが増しています。ひき続き、年金・医療・介護の機能強化への取り組みを、進めていく、今年は、原爆投下８０年、平和は「願う」ものでなく、「つくる」ものであると、挨拶がありました。その後連合事務局長、続いて来賓の立憲民主党、国民民主党、社民党、からの挨拶を受けました。

講演は、「世のため、人のため、どう貢献できるか」をテーマとして、歌手・俳優の杉良太郎氏の体験を交え報告されました。１５歳の時に,歌揺学校の盲目の先生に誘われ、刑務所や養老院への慰問を始めて、現在も継続している。長生き、友人、趣味をもって人生を歩んでいきましょう、と訴えがありました。高校生「平和大使の取り組み」では、昨年日本被団協が、ノーベル平和賞を受賞したこと受け、「核兵器廃絶」・「平和な社会実現」に向けた取り組みについて、報告がありました。その後、集会アピール、会長の団結ガンバロー、「平和と民主主義を守り、生き生きと暮らせる社会を、未来につないでいこう」を確認しました。

集会アピールは、裏に掲載しました。

詳細は退職者連合機関紙（ふれあい情報）にて参照してください。